



新しい年を迎えるにあたりました。旧年中は大変お世話をになりました。お陰様で、国政で、地域で、様々な活動を行うことができました。ありがとうございます。議席をいただいた1年数ヶ月、国政全般・相模原/愛川/清川の課題を本会議登壇1回、委員会質疑8回、質問主意書2件提出をいたしました。(先の臨時国会での質問主意書は衆議院議員全465人中3番目の件数)一方で物価高への対応など、未だに改善されていかない現状があるのも事実です。

ガソリン等暫定税率廃止法案の3度提出を始め、社会保障負担が始まる130万円の崖を埋める法案、中小企業の社会保険負担を軽減する法案なども党として提出いたしました。

#### この時期の突然の衆議院解散の大義は何?

新年度(4月から)予算審議を行わず、政治空白ができる意味です。予算は物価高が続く中で国民生活や経済対策にとって必須です。年度内に成立しなければ多大な影響を及ぼします。筋が通らないと言えます。大義は何なのでしょうか…



衆議院本会議登壇

# 物価高…増税…

## 国民生活が疲弊しています。 恩恵のある分配政策が必要です。

長友よしひろは日本の未来のため、地域のために全力で働きます!

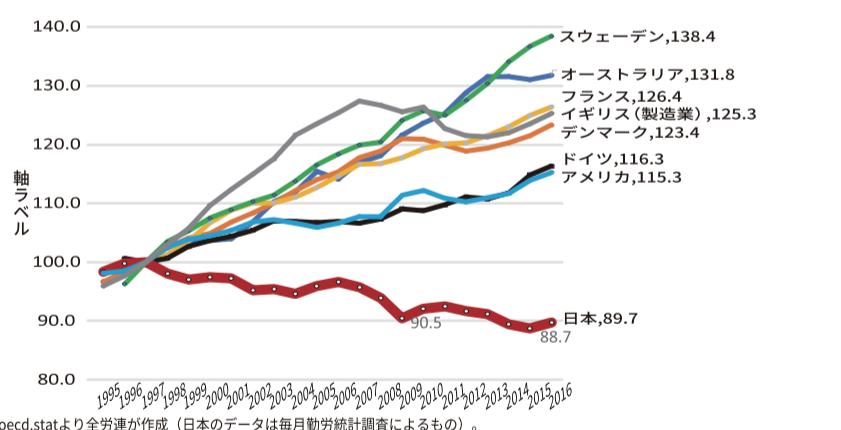
実質賃金が増える仕組みを実現し、豊かな社会を取り戻し、「子どもたちや若者が未来への希望を感じ、誰もが自分らしく活躍できる活力ある社会を」を目指します!

生活の現場に支援が行き届く仕組み…  
働く方々の実質賃金が増える、中小・小規模事業者の負担を減らす、地方自治体への配分増に向け引き続き取り組みます。

また、党に対する厳しいご意見も多数伺います。  
党内改革に向けて取り組んで参ります。  
本年も引き続きのご指導ご厚誼のほど、何卒宜しくお願いします。

衆議院議員 長友よしひろ

実質賃金指数の推移の国際比較(1997年=100)

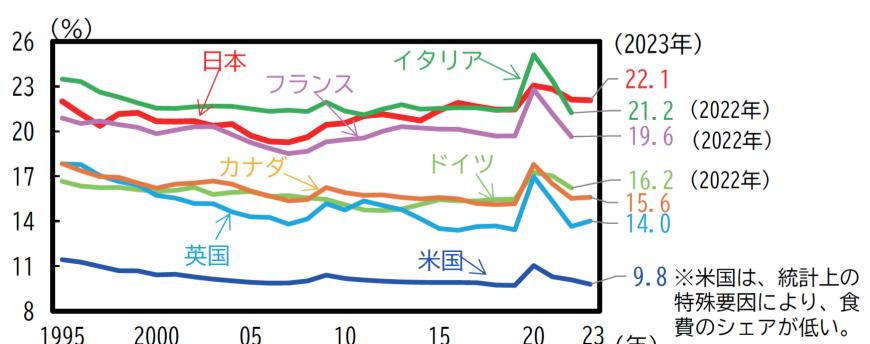


出典: oecd.statより全労連が作成(日本のデータは毎月労働統計調査によるもの)。  
注: 民間産業の時間当たり賃金(一時金・時間外手当含む)を消費者物価指数でデフレートした。オーストラリアは2013年以降、第2・四半期と第4・四半期のデータの単純平均値。仮想の2016年データは第1~第3・四半期の単純平均値。英は製造業のデータのみ。

各国と比べても日本だけ実質賃金は減少しています。  
つまり所得が増えていないのです。そして、物価高に直面している昨今、更に貧困化が進んでいることはエンゲル係数を見ても明らかです。【裏面に続く】

各国のエンゲル係数比較

出典: 内閣府



今の政治では  
日本が  
ダメになる!!  
だから、具体的な提案を持って



# 消費税5%減税 インボイス廃止

不公平税制の抜本的改革で  
物価高騰・経済危機の日本を立て直す!

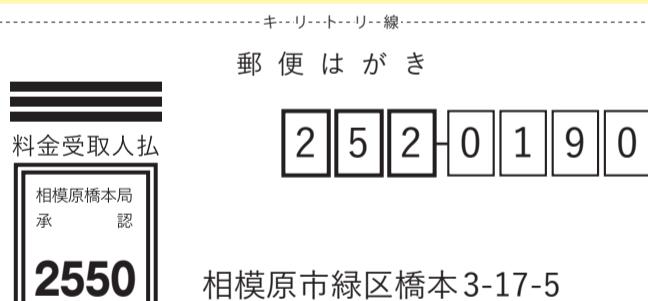
消費税は「直間比率の見直し」のもとに平成元年(1989)3%で創設されました。以後、5%、8%、10%と増税を繰り返し、事実上、大企業の法人税と高額所得者等の大幅減税の穴埋めに使われてきました。

国税基幹3税(法人税・所得税・消費税)のうち、当初は最も税収が少なかった消費税は令和2年(2020)度からは最も多くなっています。これは「直間比率の見直し」が行き過ぎた証左です。

平成2年度から令和2年度の30年間で、法人税が7.2兆円、所得税が6.8兆円も減り、消費税は16.4兆円も増えています。こうした大企業・富裕層優遇税制のもと、消費税は経済を減速させたと言えます。大企業の労働分配率が低いのも実質賃金が増えない要因と言えます。

消費税減税は消費を拡大し、経済を成長させる起点となります。担税能力に合わせた税制の抜本改革で「公平・簡素・納得」の税制をつくり、個人・法人企業の経済力の格差、地方自治体の財政力の格差を是正します。

## ○ 法人税は所得税と同様、累進税率



相模原市緑区橋本3-17-5  
わかばビル603号  
**長友よしひろ事務所**  
行  
現状の政治に対するご意見を教えて下さい。

お名前 \_\_\_\_\_

ご住所 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

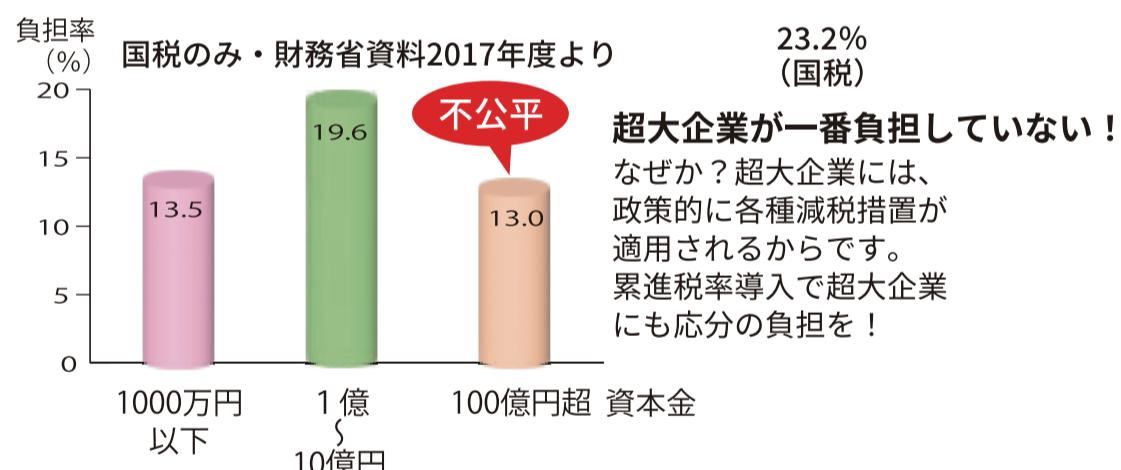
※無記名でも構いません

の導入を目指します。

- 所得税の最高税率等を引き上げ、現在の分離課税を維持し、高額所得者の金融所得について累進税率の導入を目指します。
- 社会保険料の上限を見直し、富裕層に応分の負担を求めます。
- 中小企業の社会保険料事業主負担分の軽減を目指します。
- 労働分配率の適正化を図り賃上げを実現します。

☆以上を踏まえて「消費税の減税その他の税制の見直しに関する法律案」(令和4年立憲民主党が野党3党と衆議院に提出)を改訂・更新し、「消費税減税の代わりの安定財源をつくる法律」をつくり実現を目指します!

## 実際の法人税負担率



## 長友よしひろ略歴

昭和45年(1970年)12月 相模原市緑区橋本で生まれ大沢で育つ。  
橋本幼稚園・大沢幼稚園→相模原市立大沢小→市立大沢中→神奈川県立弥栄西高→法政大学卒。  
大学入学と同時に衆議院議員(当時)藤井裕久先生事務所入所。  
以後、約9年間の秘書時代を通して現場の政治を学ぶ。  
公設秘書を最後に退職し、平成11年28歳で相模原市議会議員に当選。  
2期務めた後、神奈川県議会議員4期。  
令和3年の衆議院選にて11万6273票いたくも落選。区割り変更後の令和6年10月、7万4238票を賜わり衆議院議員当選。



**神奈川14区(相模原市中央区、  
緑区、愛川町、清川村)から  
国政改革に向けて活動中!**



長友よしひろLINE公式アカウント。  
是非ご登録をお願いします。